

長野広域連合

一般廃棄物最終処分場整備運営事業

審査講評

令和2年11月25日

長野広域連合ごみ処理施設建設事業者等選定委員会

長野広域連合ごみ処理施設建設事業者等選定委員会は、長野広域連合一般廃棄物最終処分場運営事業（以下「本事業」という。）に関して、優先交渉権者選定基準（令和2年6月25日公表）に基づき、提案内容の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和2年11月25日

長野広域連合ごみ処理施設建設事業者等選定委員会
委員長 中村 正行

目次

1	事業概要	1
(1)	事業名称	1
(2)	事業実施場所	1
(3)	対象施設	1
(4)	運営期間	1
(5)	運営事業の業務内容	1
2	選定方法等	2
(1)	優先交渉権者選定の方法	2
(2)	選定委員会	2
(3)	優先交渉権者選定の流れ	3
(4)	審査方法	4
3	優先交渉権者選定の経緯と審査結果	5
(1)	優先交渉権者選定までの主な経緯	5
(2)	参加資格審査	6
(3)	提案書類審査	6
4	審査講評	9
(1)	非価格要素提案に係る審査講評	9
(2)	総評	10

1 事業概要

(1) 事業名称

長野広域連合一般廃棄物最終処分場運営事業

(2) 事業実施場所

須坂市大字亀倉字栗毛・左方外

(3) 対象施設

一般廃棄物最終処分場（敷地面積：約 106,000 m²、埋立面積：約 16,700 m²、埋立容量：約 85,000m³）

なお、本施設は現在、建設工事にて整備中であり、令和3年2月に供用開始を予定している。

(4) 運営期間

本施設の運営期間は、供用開始から5年2か月間とする。

(5) 運営事業の業務内容

- ① 埋立物の受入管理業務
- ② 本施設の運転管理業務（浸出水処理施設運転管理、埋立作業等）
- ③ 本施設の維持管理業務
- ④ 本施設の環境管理業務
- ⑤ 本施設の情報管理業務
- ⑥ その他関連業務

2 選定方法等

(1) 優先交渉権者選定の方法

応募者の審査及び選定は、公平性、透明性の確保並びに民間事業者の創意工夫発揮の観点から「公募型プロポーザル方式」で行った。

(2) 選定委員会

長野広域連合（以下、「連合」という。）は、事業者選定に当たり、専門的知見に基づいた審査を実施するため、「長野広域連合ごみ処理施設建設事業者等選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）を設置した。

委員は、以下のとおりとした。

委員長	中村 正行	(信州大学工学部教授)
副委員長	藤吉 秀昭	(一般財団法人日本環境衛生センター副理事長)
委員	小野 雄策	(元日本工業大学教授)
委員	小峯 秀雄	(早稲田大学創造理工学部教授)
委員	宮脇 健太郎	(明星大学理工学部教授)
委員	山口 直也	(青山学院大学大学院教授)
委員	青木 一浩	(須坂市市民環境部長)

(3) 優先交渉権者選定の流れ

優先交渉権者選定の流れは、下図のとおりとした。

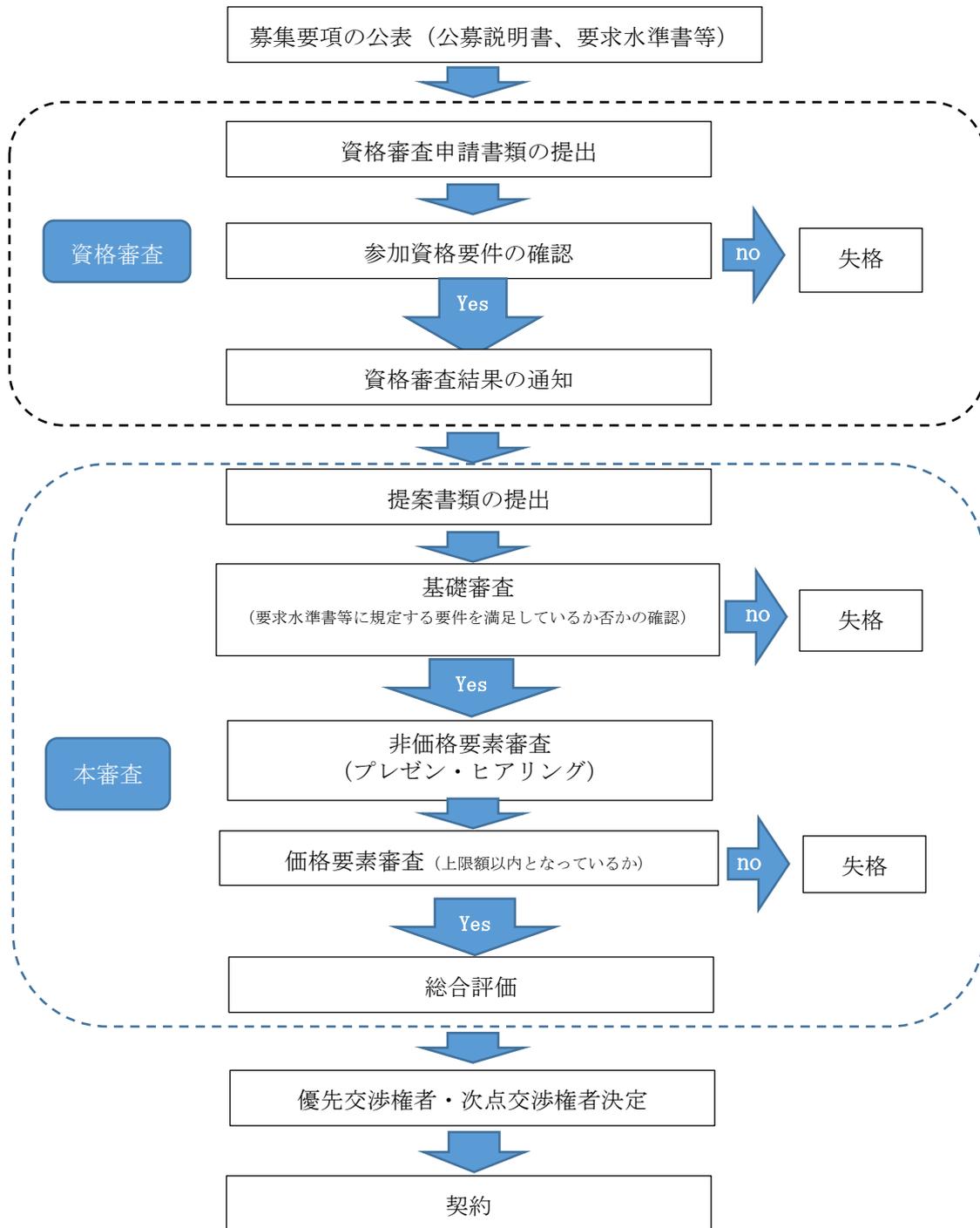


図1 事業者選定の進め方

(4) 審査方法

審査は、事業者の参加資格を審査する「資格審査」及び提案内容等を審査する「本審査」に分けて実施した。

「資格審査」では、応募者の参加資格について、連合が公募説明書（令和2年6月25日公表）の参加資格要件に基づき審査を行った。

「本審査」においては、連合がまず基礎審査を行い、次いで、選定委員会が優先交渉権者選定基準（令和2年6月25日公表）に基づき、具体的な提案内容の非価格要素審査を行った。その後、連合が提案価格を確認し、それに基づいて価格要素審査を行い、最終的に総合評価を行った。

なお、選定委員会で協議の結果、総合評価は100点満点、非価格要素点と価格要素点の比率は60：40（非価格要素点：価格要素点）とした。点数化の方法を以下に示す。

ア 非価格要素点

非価格要素評価項目の中項目別に、3段階の得点化方法により委員ごとに評価を行い、各委員の評価点の平均値を算出した。（小数点以下第4位を四捨五入）

算出した非価格要素評価項目の中項目ごとの平均値を全て合計した点数（100点満点）を算出し、総合評価の際にこれを0.6倍した値を非価格要素点とした。（小数点以下第4位を四捨五入）

イ 価格要素点

各審査対象者の提案価格について、以下の算出式に基づいて価格要素点を算出した。（小数点以下第4位を四捨五入）

$$\text{価格要素点} = 40 \text{点} \times (\text{最低提案価格} / \text{当該提案価格})$$

3 優先交渉権者選定の経緯と審査結果

(1) 優先交渉権者選定までの主な経緯

表1 事業者募集・選定スケジュール

月 日	項 目
6月4日(木)	【第1回選定委員会】 ・事業者選定までのスケジュールについて ・優先交渉権者選定基準について
6月25日(木)	募集公告及び募集要項(第1部)の公表
7月2日(木)	資格審査に関する質問締切
7月9日(木)	資格審査に関する質問回答
7月9日(木)	その他募集要項(第1部)に関する質問締切
7月15日(水)	参加表明書、資格審査申請書類締切
7月31日(金)	その他募集要項(第1部)に関する質問回答
7月31日(金)	資格審査結果の通知、募集要項(第2部)の配布
8月3日(月)～7日(金)	現地見学会
8月17日(月)	募集要項(第2部)に関する質問締切
8月31日(月)	募集要項(第2部)に関する質問回答
9月24日(木)	提案書提出締切
10月15日(木)	【第2回選定委員会】 ・公募の実施状況について ・非価格要素提案書の概要と明瞭化について
11月6日(金)	【第3回選定委員会】 ・事業者ヒアリング ・最終審査
11月16日(月)	優先交渉権者の決定及び公表

(2) 参加資格審査

令和2年7月15日に、3グループから参加表明書（参加資格確認申請書を含む）の提出があり、公募説明書に示す参加資格の要件について審査した結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認した。

なお、公正を期すため、選定委員会における審査は、優先交渉権者の選定が終わるまで企業名を匿名としたグループ名で実施した。

グループ名は「ナデシコ」、「ヒマワリ」、「ラベンダー」とした。

(3) 提案書類審査

令和2年9月24日に、3グループのうちナデシコグループ、ヒマワリグループから提案書類の提出があった。なお、ラベンダーグループから提案書類提出前に辞退届が提出された。

ア 基礎審査

連合は、基礎審査の対象となった2グループの提案書類について、提案書類がすべて公募説明書の指定どおりに揃っていること及び記載された内容が要求水準をすべて満たしていることを確認し、選定委員会に報告した。

イ 非価格要素審査

選定委員会は、優先交渉権者選定基準に基づき、以下に示す3段階の得点化方法を用いて非価格要素審査を行った。

なお、非価格要素の評価は、応募者間の相対比較ではなく、絶対評価により行った。

表2 評価点の付与の考え方

判定	評価の意味合い	得点化方法
A	優れている	配点×1.00
B	やや優れている	配点×0.60
C	要求水準を満たしている【標準】	配点×0.20

非価格要素審査の結果は、以下のとおりである。

表3 非価格要素評価項目及び審査結果

大項目	中項目	小項目(提案を求める内容)	配点		ナデシコ	ヒマワリ				
非価格要素項目と配点	環境への配慮及び貢献	周辺環境への配慮	・地元に対する環境配慮(具体的な実施内容) ・環境保全基準を順守・管理するための具体的な方法	15	15	11.571	5.571			
	安心・安全な施設と運営	施設の運営管理体制	・運営管理体制の基本的な考え方 ・具体的な体制(資格者・職員配置など図表化) ・緊急時の支援体制	65	10	7.286	4.714			
		早期安定化に向けた埋立計画と作業方法	・埋立物の特徴を踏まえた埋立計画と作業時の留意点(埋立計画、埋立方法を具体的に示すこと)					10	7.714	2.000
		ライフサイクルの観点からの運転・維持管理	・埋立物の特徴を踏まえた運転・維持管理に関する提案 ・運営期間終了後も施設性能を維持することを前提とした具体的な維持管理方法 ・次期運営期間を見据えた情報管理等のあり方					15	7.286	4.714
		施設のトラブルや自然災害等リスクへの対応	・想定される施設トラブル(機器故障、水質異常等)及び自然災害などへの対処方法					20	13.143	7.429
		適切なモニタリング体制	・セルフモニタリングの実施方法					10	3.714	2.000
	事業の安定性	事業計画の妥当性・安定性	・事業継続が困難になった場合の対応策(事業者の財務状況の悪化など事業継続が危ぶまれる事象を想定し、その対応策を示すこと)	10	10	5.429	3.143			
	地域への貢献	地元企業の活用・育成 地域住民の雇用促進	・地元企業への発注、地元企業の育成及び地元雇用の考え方	10	10	8.286	4.857			
	合計			100		63.714	31.714			
	非価格要素点			60		38.228	19.028			

ウ 価格要素審査

令和2年11月6日に、価格提案書を確認した。各審査対象者とも提案価格（消費税及び地方消費税の額は含まない）が上限額（390,720,000円）を超えていないことを確認した。

価格要素審査の結果は、以下のとおりである。

表4 価格要素審査結果

	ナデシコ	ヒマワリ
提案価格	372,000,000円	305,280,000円
価格要素点	32.826点	40.000点

エ 総合評価点の算出

選定委員会において、非価格要素点と価格評価点を合計して、総合評価点を算出した。

総合評価の結果は、以下のとおりである。

表5 総合評価結果

	配点	ナデシコ	ヒマワリ
非価格要素点	60点	38.228点	19.028点
価格要素点	40点	32.826点	40.000点
総合評価点	100点	71.054点	59.028点

オ 優先交渉権者の選定

以上の審査の終了後に、ナデシコグループ及びヒマワリグループの応募者名を確認し、トーヨークリエイト株式会社を代表企業とするナデシコグループを優先交渉権者として選定した。なお、次点交渉権者は選定しないものとした。

表6 応募者名

	ナデシコ	ヒマワリ
代表企業	トーヨークリエイト株式会社	共和化工株式会社
構成企業	飯山陸送株式会社	須坂土建工業株式会社

4 審査講評

(1) 非価格要素提案に係る審査講評

非価格要素の各評価項目について、2グループの提案内容に対する評価は、表7のとおりである。

表7 非価格要素の審査結果

大項目	中項目	小項目(提案を求める内容)	評価
環境への配慮及び貢献	周辺環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・地元に対する環境配慮(具体的な実施内容) ・環境保全基準を順守・管理するための具体的な方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、地域の状況をよく理解した環境配慮の方法が具体的に示されている点を評価した。
安心・安全な施設と運営	施設の運営管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・運営管理体制の基本的な考え方 ・具体的な体制(資格者・職員配置など図表化) ・緊急時の支援体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、運営管理の詳細体制が示され十分な人員体制である点、及び緊急時の事象ごとに具体的な対応策が示されている点を評価した。
	早期安定化に向けた埋立計画と作業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立物の特徴を踏まえた埋立計画と作業時の留意点(埋立計画、埋立方法を具体的に示すこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループは溶融スラグの配置など、埋立の手順がより具体的に示されている点、及びその方法でうまくいかない可能性も踏まえた提案を評価した。
	ライフサイクルの観点からの運転・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・埋立物の特徴を踏まえた運転・維持管理に関する提案 ・運営期間終了後も施設性能を維持することを前提とした具体的な維持管理方法 ・次期運営期間を見据えた情報管理等のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、一般論にとどまらず要点を押さえた提案である点を評価した。 ・ヒマワリグループについて、長期的な修繕計画に関する提案が示されている点を評価した。
	施設のトラブルや自然災害等リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・想定される施設トラブル(機器故障、水質異常等)及び自然災害などへの対処方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、事象ごとに具体的な対応策が示されている点、及び本施設で埋立物の受入れができなくなった場合の対応方法が具体的に示されている点を評価した。
	適切なモニタリング体制	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングの実施方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともに特筆すべき提案は見られなかった。
事業の安定性	事業計画の妥当性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続が困難になった場合の対応策(事業者の財務状況の悪化など事業継続が危ぶまれる事象を想定し、その対応策を示すこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、具体的でわかりやすい対応策の提案を示している点を評価した。
地域への貢献	地元企業の活用・育成 地域住民の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業への発注、地元企業の育成及び地元雇用の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナデシコグループについて、多様な提案があり具体性が高い点を評価した。

(2) 総評

選定委員会は、優先交渉権者選定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、トーヨークリエイト株式会社を代表企業とするナデシコグループを優先交渉権者として選定した。

同グループは非価格要素提案において、本事業についてより深く検討を行い積極的に具体的な提案を行ったものと評価した。

選定された事業者には、提案した内容を確実に履行するとともに、連合の要望にも真摯に対応していただくことをお願いする。

また、本事業の重要性、さらに本施設の整備に際しては、長年にわたる地元住民の理解、協力の上に成り立っていることを十分に認識して、事業を進めていただきたい。

特に以下の事項への対応と地域との調和や地元への貢献に努められることをお願いする。

- 早期安定化に向けた埋立計画と作業方法について、溶融スラグの有効利用が進み、埋立物が飛灰処理物だけになった場合の埋立方法についてさらに検討すること。
- 施設の運営管理体制について、業務量の増減に応じた人員配置の適正化を検討すること。
- ライフサイクルの観点からの浸出水処理施設の運転・維持管理方法として、本事業の運営期間終了後を見越し、経済性を高める運営方法をさらに検討すること。
- セルフモニタリングの実施方法について、環境モニタリングだけでなく、事業全般に関するセルフモニタリングを実施すること。
- 事業の安定性確保に向けて、具体的な対応方法についてさらに検討すること。

最後に、提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成において多大な労力及び費用負担があったことが推察される。そのような中、提案をまとめられた応募者の熱意に敬意を表するとともに深く感謝する。

以上